

講義名	8010000600 健康教育技法						
年度	2025	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	高橋 雪子		

学習目標(到達目標)

- 1.助産師による相談・教育の対象と特徴について説明できる。
- 2.相談・教育する上で基盤となる理論について説明できる。
- 3.相談・教育活動の基本がわかり、健康教育の内容・方法・評価について説明できる。
- 4.個別指導・集団指導のアプローチについて説明できる。
- 5.両親学級・母親学級の計画立案と実施・評価ができる。
- 6.マタニティビクス・マタニティヨガについての計画立案ができる。
- 7.未就学児および思春期の健康教育について実施・評価ができる。

授業概要(教育目的)

健康教育を行う基礎知識を理解し、健康教育に必要な指導・相談活動について学ぶ。また、集団指導の企画・運営・評価について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

定期試験およびレポート、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況)等により、総合的に評価する。

講義時使用テキスト

- 1.医学書院 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ
- 2.医学書院 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [妊娠期]
- 3.医学書院 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [分娩期・産褥期]
- 4.医学書院 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ [新生児期・乳幼児期]

資格との関連

本科目は、別科助産専攻の必修科目となっている。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	相談・教育の対象理解 理論的基盤:問題解決プロセス、女性と家族セルフケア理論、エンパワメント	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
2	健康教育理論:健康信念モデル、プリシード・プロシードモデル 学修の理論:教育と学習、学修のメカニズム、学修プロセスへの支援と動機付け	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
3	相談技術の基本:実際:教育技術の基本 保健指導活動の技術、実際	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
4	健康教育の実際、企画書、計画書:目的・内容・方法・評価 保健指導活動の技術、実際	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
5	個別相談の方法:アプローチの特徴と指導場面 受胎調剤の意義と目的	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
6	集団指導の方法:アプローチの特徴と指導場面	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
7	妊婦の保健指導案作成:褥婦の退院指導案作成・沐浴指導案作成①	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
8	妊婦の保健指導案作成:褥婦の退院指導案作成・沐浴指導案作成②	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
9	妊婦の保健指導発表:褥婦の退院指導・沐浴指導発表①	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
10	妊婦の保健指導発表:褥婦の退院指導・沐浴指導発表②	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
11	思春期の健康教育・未就学児への健康教育	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
12	女子高生アスリート向け健康講座・未就学児向け健康講座①企画書・指導案	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
13	女子高生アスリート向け健康講座・未就学児向け健康講座②企画書・指導案	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
14	女子高生アスリート向け健康講座・未就学児向け健康講座③発表練習・発表	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
15	思春期健康教育の実際(県立高校での健康教育見学)	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
16	女子高生アスリート向け健康講座・未就学児向け健康講座④発表練習・発表	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。
17	女子高生アスリート向け健康講座の実際(系列高校での健康教育)	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしておくこと。

課題に対するフィードバック

課題やレポート等は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

参考文献

学生へのメッセージ

講義名	8010001000 助産診断学Ⅲ（産婦のケア）						
年度	2025	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	藤邊 祐子		

学習目標（到達目標）

- 1.分娩経過の診断、アセスメントの内容について述べるができる。
- 2.分娩経過、母体の状況から分娩所要時間の算出ができる。
- 3.母体の分娩各期のアセスメントについて述べるができる。
- 4.胎児の健康状態のアセスメントについて述べるができる。
- 5.分娩介助の意義と原理をふまえ、分娩介助技術の要点を述べるができる。
- 6.出生直後の新生児のアセスメントについて述べるができる。
- 7.正常分娩の各期の産婦と家族をアセスメントし、ケアプランが立案できる。
- 8.異常経過にある産婦と家族をアセスメントし、ケアプランを立案できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

定期試験とレポート課題で評価する。

講義時使用テキスト

- 1.医学書院 助産学講座2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学
- 2.医学書院 助産学講座3 基礎助産学[3] 母子の健康科学
- 3.医学書院 助産学講座4 基礎助産学[4] 母子の心理社会学
- 4.医学書院 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ
- 5.医学書院 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊産期
- 6.医学書院 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期
- 7.医学書院 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期
- 8.医学書院 実践マタニティ診断 第5版
- 9.医学書院 標準産科婦人科学 第5版
- 10.メディカ出版 THE分娩 生理学・助産診断・分娩介助のすべて
- 11.インターメディカ 助産技術アドバンス

資格との関連

助産師国家試験受験に必須の科目である

実務との関連

助産師として医療機関等に勤務。実務経験をもとに助産診断学Ⅲに関する講義・演習を行う。

授業概要（教育目的）

身体的・精神的・社会的な3つの側面からの産婦と胎児の状態を把握し経過を助産診断するための知識・技術と、安全・安楽で産婦が満足できる分娩を導くために必要なケアを学ぶ。
分娩期の診断・援助能力を修得できるよう、講義に加え、産婦事例を用いて分娩期の助産過程を展開する。

課題に対するフィードバック

課題やレポート等は、次の備考で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

参考文献

- 1.医学書院 日本助産診断実践学会編集 マタニティ診断ハンドブック
- 2.医学書院 WHO推奨 ポジティブな出産体験のための分娩期ケア

学生へのメッセージ

助産師教育での分娩直接介助について学ぶため、予習・復習をして読んでください。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション「分娩経過に必要な基礎的知識」分娩とは、分娩の3要素、分娩が母体・胎児に及ぼす影響	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
2	「分娩期のフィジカルアセスメント①」産婦の健康診査、分娩開始の予測と徴候、破水の診断、分娩期の経過診断	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
3	「分娩期のフィジカルアセスメント②」胎児の健康状態のアセスメント、胎児付属物のアセスメント	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
4	「分娩期のフィジカルアセスメント③」母体の健康状態のアセスメント、分娩期の心理・社会的変化	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
5	「産婦の支援の基本①」対象をみる視点、ケアの背景となる基本的知識	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
6	「産婦の支援の基本②」分娩経過に沿ったケア	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
7	「産婦の支援の基本③」分娩経過に沿ったケア	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
8	「分娩経過の診断および診察法」分娩時の胎児心拍数モニタリングの読み方と対応	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
9	「分娩期の異常・偶発疾患」分娩の3要素、分娩に伴う損傷・偶発疾患	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
10	「ハイリスク・異常分娩時のアセスメントと支援」ハイリスク・異常分娩時のアセスメント、ハイリスク・異常分娩時の産婦への支援	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
11	産科手術及び産科的医療処置 分娩時の救急処置	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
12	「出生直後の新生児のアセスメントとケア」①出生前に行う新生児の状態の予測と準備、出生直後の胎外適応状態の評価と支援②異常の早期発見と支援	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
13	「分娩直接介助の実践と産婦ケア」 ゲストティーチャー	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
14	技術演習「分娩経過の診断および診察法」①入院の必要性の判断および診察法	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
15	技術演習「分娩経過の診断および診察法」②陣痛測定とその評価、分娩時の胎児モニタリングの読み方と対応	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
16	「分娩介助の原理と介助技術」①	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
17	「分娩介助の原理と介助技術」②	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。

